

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地



照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

中小企業景気動向調査 2021年4月～6月期 NO. 63

【概況】 2021年4月～6月期の業況は▲15.0、前期比 4.9ポイントプラスと上向きました。
来期は両地域とも上向く見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

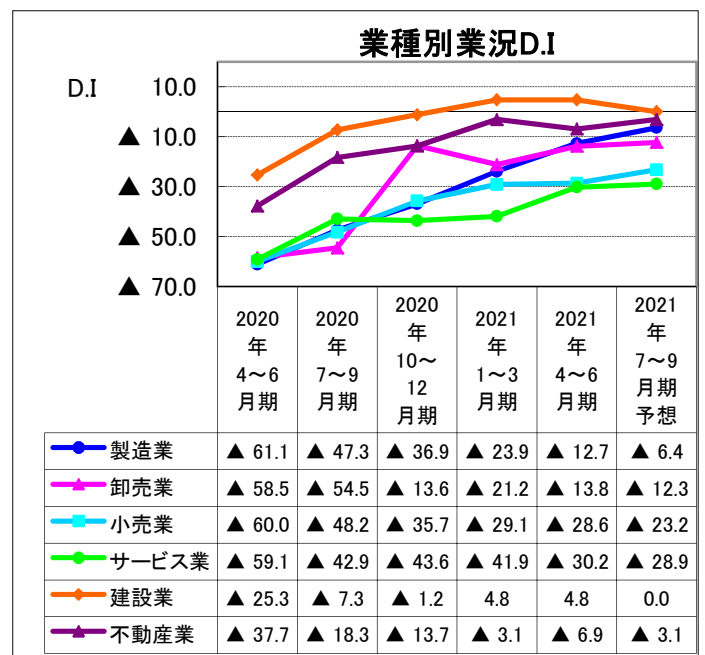
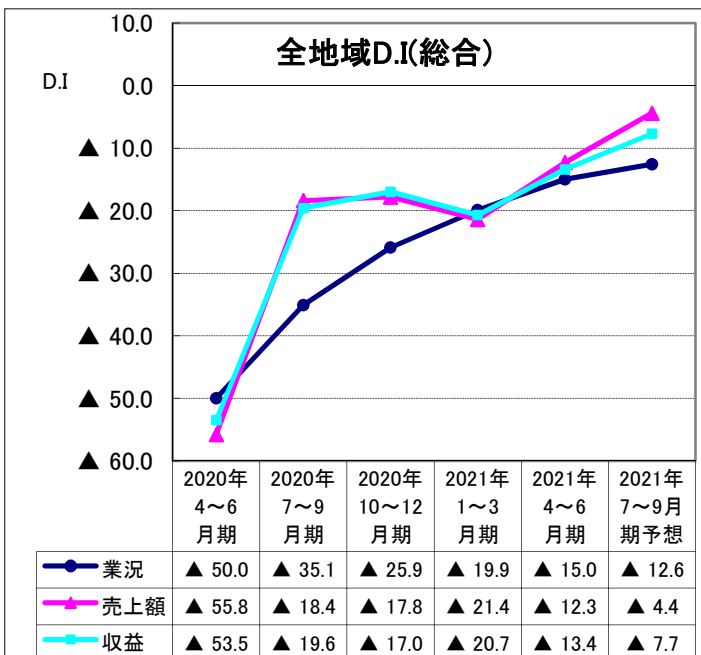
項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年7月～ 9月期予想	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年7月～ 9月期予想	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年7月～ 9月期予想
業況	▲ 19.9	▲ 15.0	▲ 12.6	▲ 22.1	▲ 10.7	▲ 8.0	▲ 15.0	5.1	9.2
売上額	▲ 21.4	▲ 12.3	▲ 4.4	▲ 26.0	▲ 17.2	▲ 2.3	▲ 15.3	11.1	12.7
収益	▲ 20.7	▲ 13.4	▲ 7.7	▲ 25.6	▲ 17.6	▲ 6.5	▲ 14.2	7.2	9.5
販売価格	▲ 2.5	2.0	2.4	▲ 2.0	0.0	2.7	▲ 1.5	7.2	4.4
仕入価格	5.4	15.1	14.5	5.2	16.0	17.2	6.6	21.7	17.8
在庫	▲ 0.7	▲ 6.1	▲ 7.4	▲ 0.5	▲ 6.1	▲ 7.7	▲ 1.5	▲ 3.2	▲ 4.6
資金繰り	▲ 2.2	1.7	1.2	▲ 2.8	3.8	2.3	▲ 1.1	10.4	12.8
人手	▲ 13.3	▲ 12.4	▲ 12.7	▲ 16.9	▲ 19.1	▲ 19.1	▲ 8.4	▲ 14.1	▲ 15.5
設備状況	▲ 7.4	▲ 6.9	▲ 6.5	▲ 8.1	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 5.3	▲ 12.7	▲ 13.2

2021年4月～6月期実績

《 建設業、不動産業以外の業種で上向く 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲15.0、前期比4.9ポイントプラスと上向きました。
全地域の業種別では建設業、不動産業以外の業種において上向きました。

2021年7月～9月期見通し

《 両地域とも上向く見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは▲12.6、当期比2.4ポイントプラスとさらに上向く見通しです。全地域の業種別では、建設業以外の業種において上向く見通しです。
地域別では、両地域とも上向く見通しです。



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2021年6月上旬

3. 調査対象期間

2021年4月～6月期実績（2021年1月～3月期との比較）

2021年7月～9月期予想（2021年4月～6月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	110	98.2%
卸売業	66	65	98.4%
小売業	56	56	100.0%
サービス業	151	150	99.3%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	130	99.2%
合計	600	595	99.1%

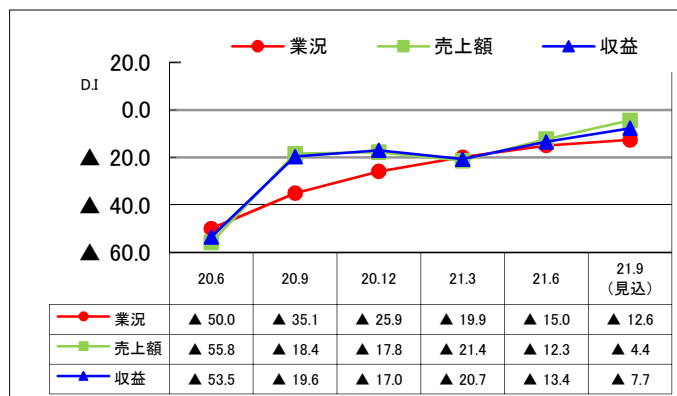
本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは▲15.0、前期比4.9ポイントプラス（前年同期比+35.0）と上向きました。業種別では、建設業、不動産業以外の業種において上向きました。

来期予想D.Iは▲12.6、当期比2.4ポイントプラスとさらに上向く見通しです。

業種別では、建設業以外の業種において上向く見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは▲12.3、前期比9.1ポイントプラス（前年同期比+43.5）と持ち直しました。業種別では、全業種において上向きました。

来期予想D.Iは▲4.4、当期比7.9ポイントプラスとさらに減少幅が縮小する見通しです。業種別では、製造業以外の業種において上向く見通しです。

3. 収益

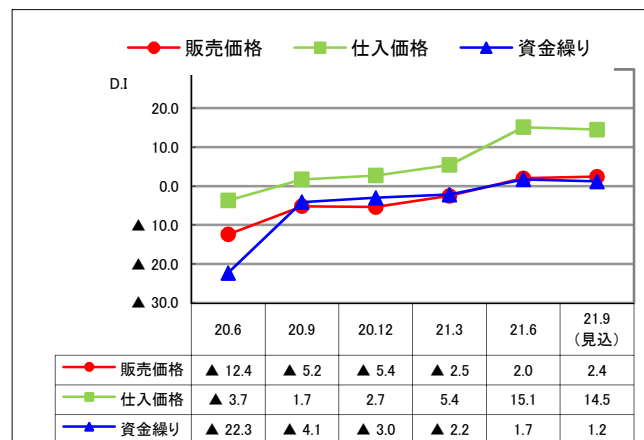
全業種における収益D.Iは▲13.4、前期比7.3ポイントプラス（前年同期比+40.1）と持ち直しました。業種別では、卸売業、建設業において低迷しました。

来期予想D.Iは▲7.7、当期比5.7ポイントプラスとさらに減少幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業、小売業、サービス業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは1.7、前期比3.9ポイントプラス（前年同期比+24.0）と窮屈感を脱しました。業種別では、製造業、建設業において厳しさが増しました。

来期予想D.Iは1.2、当期比0.5ポイントマイナスと容易さが縮小する見通しです。業種別では、小売業、サービス業において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは2.0、前期比4.5ポイントプラス（前年同期比+14.4）と上昇に転じました。業種別では、建設業以外の業種において上昇しました。

来期予想D.Iは2.4、当期比0.4ポイントプラスと上昇幅が拡大する見通しです。業種別では、小売業、不動産業において低下する見通しです。

6. 仕入価格

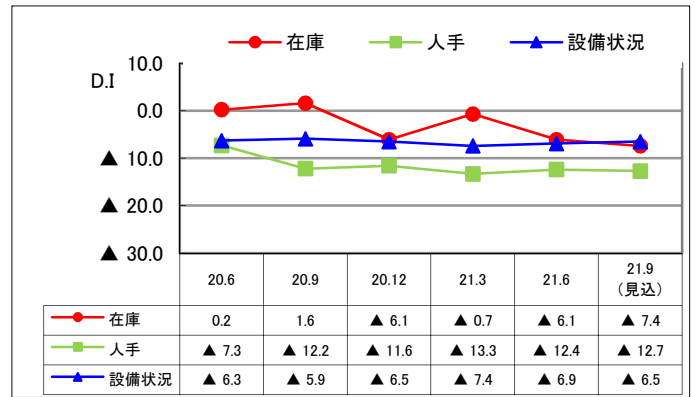
全業種における仕入価格D.Iは15.1、前期比9.7ポイントプラス（前年同期比+18.8）と上昇幅が拡大しました。業種別では、全業種において上昇しました。

来期予想D.Iは14.5、当期比0.6ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、製造業、小売業において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲6.1、前期比5.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲6.3）と不足感が強まりました。業種別では、小売業以外で不足感が強まりました。

来期予想D.Iは▲7.4、当期比1.3ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、卸売業、小売業でさらに不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲12.4、前期比0.9ポイントプラス（前年同期比 ▲5.1）と不足感が改善しました。業種別では、小売業、サービス業において不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲12.7、当期比0.3ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、小売業、不動産業で不足感が強まる見通しです。

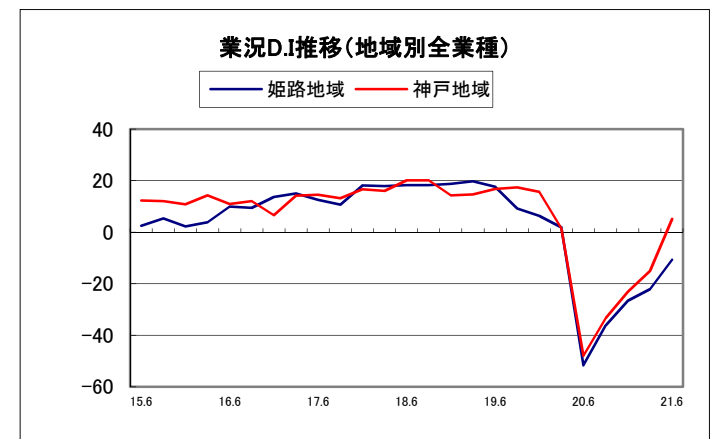
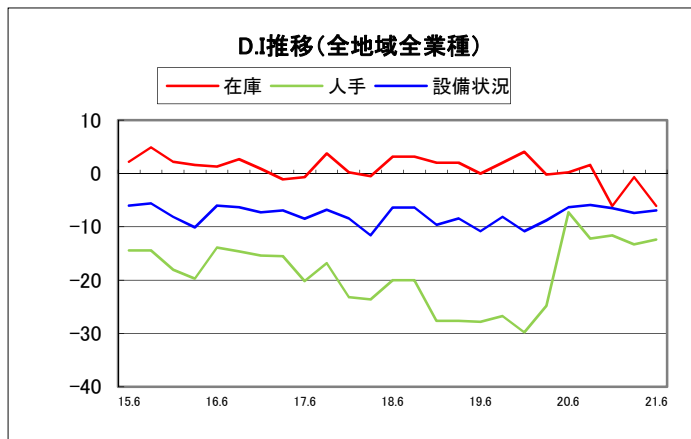
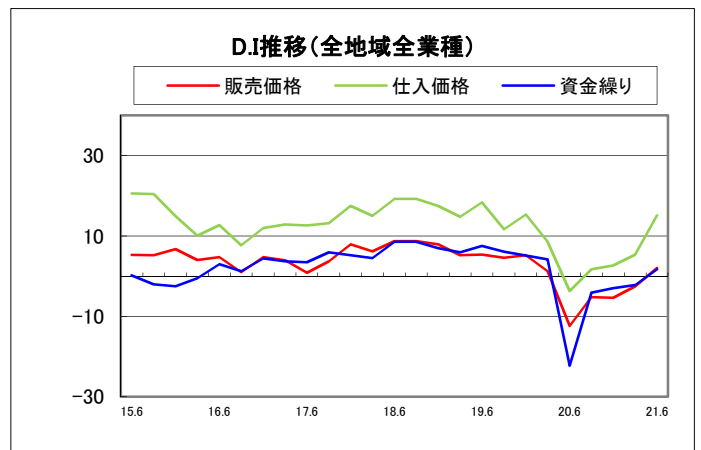
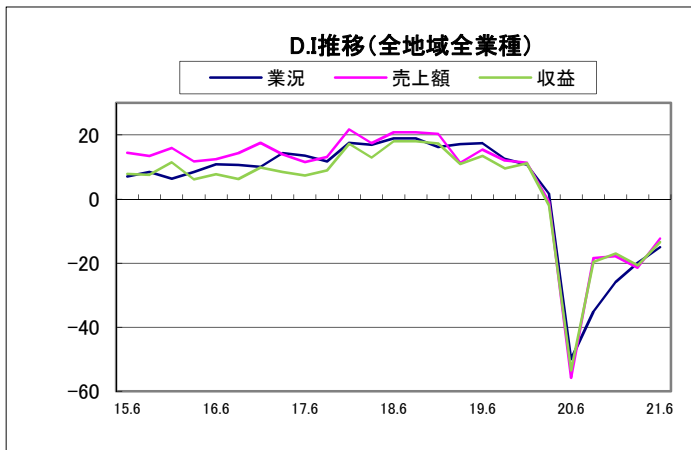
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲6.9、前期比0.5ポイントプラス（前年同期比 ▲0.6）と改善しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は29.7%、前期比4.1ポイントプラス（前年同期比11.2）と増加しました。また業種別では、卸売業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は32%、当期比増加2.3ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D. I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業321企業 (回答率99.0%)
(神戸地域) 回答企業274企業 (回答率99.2%)

1. 業況

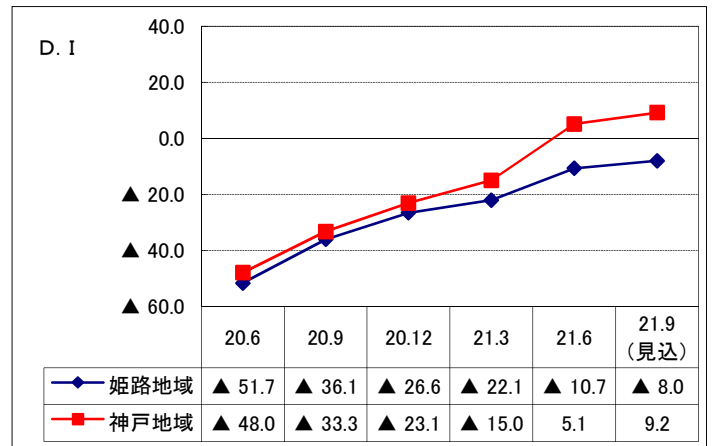
姫路地域の業況D. Iは▲10.7、前期比11.4ポイントプラス（前年同期比+41.0）と上向きました。

来期予想D. Iは▲8.0、当期比2.7ポイントプラスとさらに上向く見通しです。

神戸地域の業況D. Iは5.1、前期比20.1ポイントプラス（前年同期比+53.1）と改善しました。

来期予想D. Iは9.2、当期比4.1ポイントプラスと回復に向かう見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも改善しました。



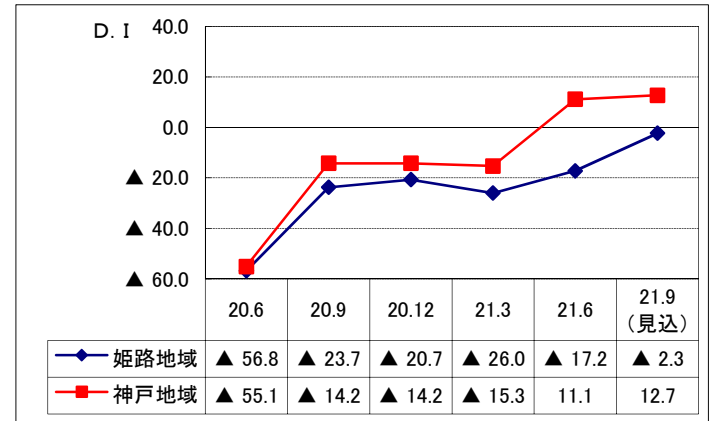
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは▲17.2、前期比8.8ポイントプラス（前年同期比+39.6）と持ち直しました。

来期予想D. Iは▲2.3、当期比14.9ポイントプラスとさらに減少幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは11.1、前期比26.4ポイントプラス（前年同期比+66.2）と好転しました。

来期予想D. Iは12.7、当期比1.6ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



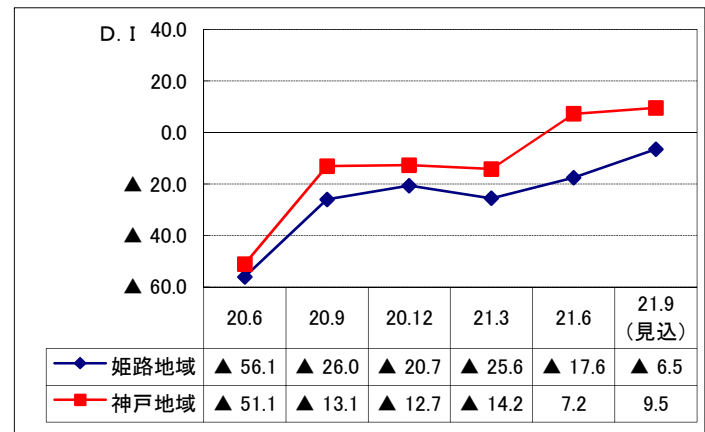
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲17.6、前期比8.0ポイントプラス（前年同期比+38.5）と持ち直しました。

来期予想D. Iは▲6.5、当期比11.1ポイントプラスとさらに減少幅が縮小する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは7.2、前期比21.4ポイントプラス（前年同期比+58.3）と好転しました。

来期予想D. Iは9.5、当期比2.3ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

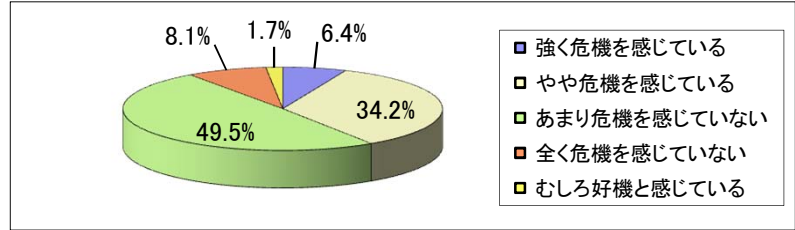


特別調査「中小企業の事業継続について」

問1 貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。次の1～5の中からお答えください。また、貴社の業歴について、6～0の中からお答えください。

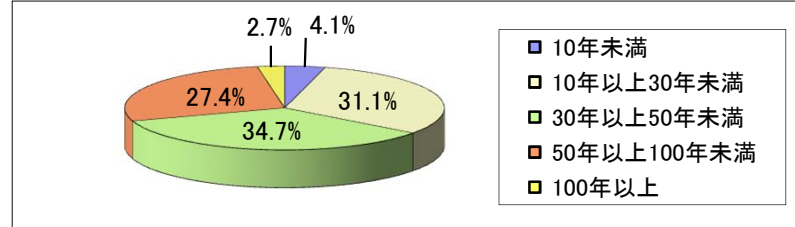
事業継続

1. 強く危機を感じている
2. やや危機を感じている
3. あまり危機を感じていない
4. 全く危機を感じていない
5. むしろ好機と感じている



貴社の業歴

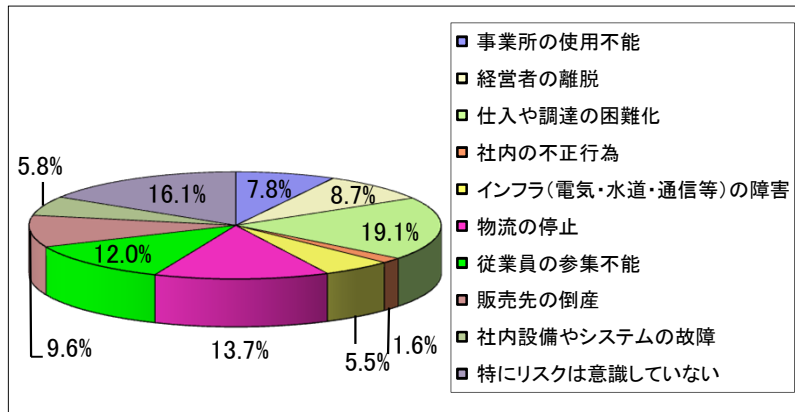
6. 10年未満
7. 10年以上30年未満
8. 30年以上50年未満
9. 50年以上100年未満
0. 100年以上



現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますかについて、最も多い回答は「あまり危機を感じていない」49.5%、次いで「やや危機を感じている」34.2%、貴社の業歴について最も多い回答は「30年以上50年未満」34.7%、次いで「10年以上30年未満」31.1%という結果となりました。

問2 貴社では、事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますか。最も当てはまるものを、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

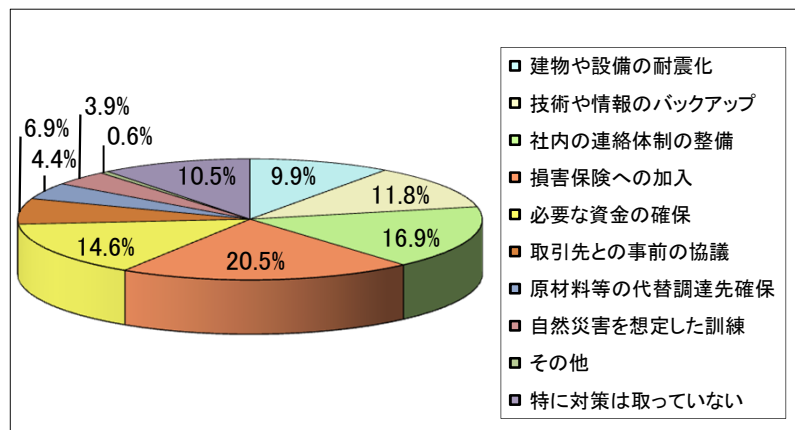
1. 事業所の使用不能
2. 経営者の離脱
3. 仕入や調達の困難化
4. 社内の不正行為
5. インフラ（電気・水道・通信等）の障害
6. 物流の停止
7. 従業員の参集不能
8. 販売先の倒産
9. 社内設備やシステムの故障
0. 特にリスクは意識していない



事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますかについて、最も多い回答は「仕入や調達の困難化」19.1%、次いで「特にリスクは意識していない」16.1%という結果となりました。

問3 貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。最も当てはまるものを、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

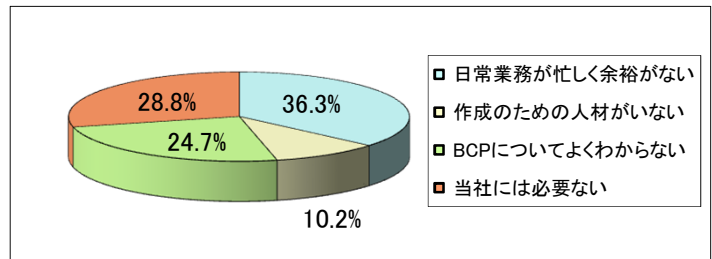
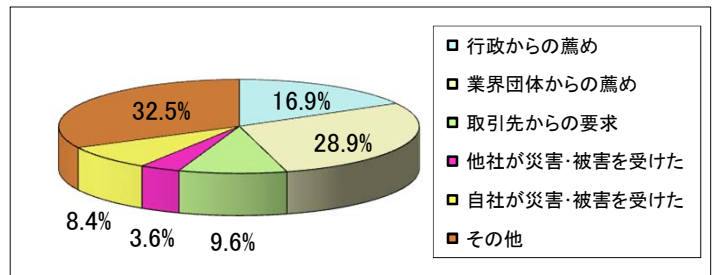
1. 建物や設備の耐震化
2. 技術や情報のバックアップ
3. 社内の連絡体制の整備
4. 損害保険への加入
5. 必要な資金の確保
6. 取引先との事前の協議
7. 原材料等の代替調達先確保
8. 自然災害を想定した訓練
9. その他
0. 特に対策は取っていない



災害に備え、どのような対策を取っていますかについて、最も多い回答は「損害保険への加入」20.5%、次いで「社内の連絡体制の整備」16.9%という結果となりました。

問4 感染症や災害などの緊急時における業務の早期復旧のために、「事業継続計画 (BCP)」の作成が有効とされています。貴社が事業継続計画 (BCP) を作成 (予定を含みます) している場合は、そのきっかけについて下記 1～6 の中から、また、作成していない場合は現在の状況について 7～0 の中から、1つ選んでお答えください。

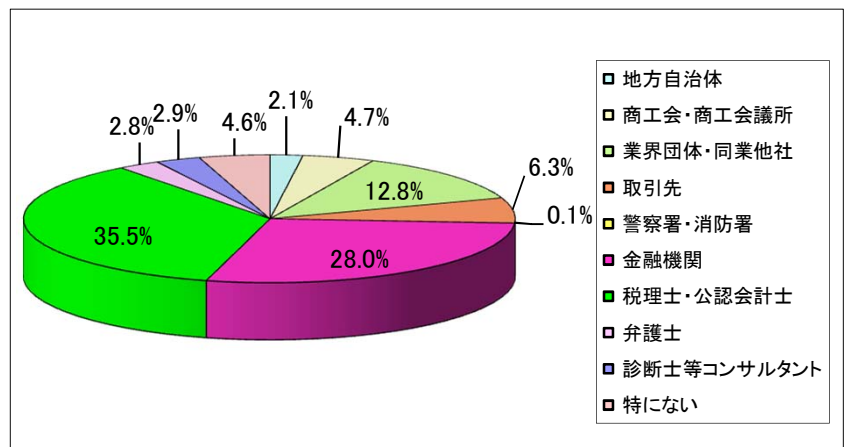
- | | |
|-------------------|----------------|
| 実施のきっかけ | BCPを作成(予定)している |
| 1. 行政からの薦め | |
| 2. 業界団体からの薦め | |
| 3. 取引先からの要求 | |
| 4. 他社が災害・被害を受けた | |
| 5. 自社が災害・被害を受けた | |
| 6. その他 | |
| 現在の状況 | BCPを作成していない |
| 7. 日常業務が忙しく余裕がない | |
| 8. 作成のための人材がない | |
| 9. BCPについてよくわからない | |
| 0. 当社には必要ない | |



感染症や災害などの緊急時における業務の早期復旧のために、「事業継続計画 (BCP)」の作成が有効とされています。貴社が事業継続計画 (BCP) を作成 (予定を含みます) している場合は、そのきっかけについては、最も多い回答は「その他」32.5%、次いで「業界団体からの薦め」28.9%、また、作成していない場合は現在の状況については最も多い回答は「日常業務が忙しく余裕がない」36.3%、次いで「当社には必要ない」28.8%という結果となりました。

問5 貴社では、事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先はありますか。最も当てはまるものを、以下の 1～9 の中から最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。

1. 地方自治体
2. 商工会・商工会議所
3. 業界団体・同業他社
4. 取引先
5. 警察署・消防署
6. 金融機関
7. 税理士・公認会計士
8. 弁護士
9. 診断士等コンサルタント
0. 特にない



事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先はありますかについて、最も多い回答は「税理士・公認会計士」35.5%、次いで「金融機関」28.0%という結果となりました。